

製品名: C9 (12U11) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe07760**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.48mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:1000-1:10000
分子量	63kDa

抗原情報

遺伝子名	C9
別名	Complement component C9; Comple Complement component C9bment component C9a;
遺伝子 ID	735.0
SwissProt ID	P02748
免疫原	ヒト補体 C9 の組み換えタンパク質

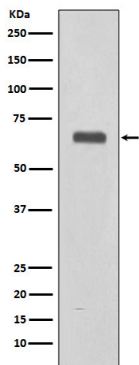
背景

C9は肝臓と単球で合成され、分子量 71kDa の単一ポリペプチド鎖からなる血漿タンパク質です。正常血漿濃度は 60mg/L です。C9は補体経路の細胞傷害性終末複合体である膜侵襲複合体 (MAC) の一部を形成します。C9は膜結合型 C5b-8 に結合し、C9と C5b-8の結合により 12~18個の C9分子の環状重合が起こります。これが MACによって形成される親水性のタンパク質壁膜貫通チャンネルの基礎となり、細胞の溶解と破壊につながります。標的細胞の細胞膜に孔を形成することで自然免疫と獲得免疫応答に重要な役割を果たす膜侵襲複合体 (MAC) の構成要素です (PubMed:9634479、PubMed:9212048、PubMed:26841934)。C9はMACの孔形成サブユニットです (PubMed:4055801、PubMed:26841934、PubMed:30111885)。

研究分野

免疫学; 自然免疫; 補体; MAC

画像データ



ヒト胎児肝臓溶解液中の C9 発現のウェスタン ブロット分析。